

週報

国際ロータリー第2660地区

第2928例会
第2517号



SERVE TO CHANGE LIVES

2021~22年度
国際ロータリー会長
Shekhar Mehta

(奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために)

豊中ロータリークラブ

広めよう ロータリーの心 地域とともに

創立 1959年6月16日

Rotary



2021.7~2022.6

会長 森本博明
副会長 北村公一
幹事 小川佳伸
雑誌・広報・会報委員長 澤木政光

本日(11月30日)のプログラム

~ ガバナー 公式訪問 ~

国際ロータリー第2660地区 ガバナー
吉川 秀隆 様 大阪 RC
国際ロータリー第2660地区 幹事
杉野利幸 様 大阪 RC

次回(12月7日)の卓話

「前期新会員卓話」

南 浩 暁 会員
深瀬 浩一 会員



ガバナーメッセージ・プロフィール 国際ロータリー第2660地区ガバナー 吉川 秀隆 様 大阪 RC



氏 名 : 吉川 秀隆(よしかわ ひでたか)

生 年 月 日 : 1949年(昭和24年)8月17日

大阪 RC 入会日 : 1990年(平成2年)1月26日

職 業 分 類 : 理髪店用備品製造

勤 務 先 : タカラベルモント株式会社

役 職 : 代表取締役会長兼社長

所 在 地 : 〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋 2-1-1

経 歴 : 1972年 日本大学経済学部 卒業

1972年 東京日産自動車販売株式会社 入社

1974年 タカラベルモント株式会社 入社

1989年 タカラベルモント株式会社 代表取締役社長

1999年 タカラベルモント株式会社 代表取締役会長兼社長

2020年 現在に至る

ロータリー歴

1993年 IAC(インターアクト委員会)委員長

1995年 雑誌委員会 委員長

1996年 SAA・役員

1998年 幹事・役員

2005年 青少年奉仕委員会 委員長・理事

2013年 副会長・クラブ奉仕委員会 委員長・理事

2015年 クラブ会長

2016年 会員選考委員会 委員長

2017~18年 100周年記念事業準備委員会 委員長

賞罰

2004年10月「薬事功労」につき厚生労働大臣表彰を受賞

2009年11月「産業振興功績」に基づき藍綬褒章を受章

2018年7月「国際交流への貢献」につき外務大臣表彰を受賞

2018年12月「戦没者遺族援護功労」につき厚生労働大臣表彰を受賞

2019年8月 チリ共和国よりベルナルドオイギンス勲章グランオフィシャル章を受章

2020年4月 経済産業省の推薦により旭日小綬章を受章

2021年6月末日現在

その他

ロータリー財団 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー ポールハリス・ソサエティ

ロータリー米山記念奨学会 米山功労者(マルチプル)

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

事務局・例会場 : 〒560-0021 豊中市本町 3 丁目 1 番 16 号 ホテル アイボリー内
TEL 06-6858-1551 FAX 06-6857-0011

例 会 日 時 : 毎 令 和 3 年 11 月 30 日

事 務 局 : 10 時 ~ 10 時 (工口祝を除く)

H P ア ド レ ス : www.sun-inet.or.jp/~jtrc2660/

メー ル ア ド レ ス : jtrc2660@sun-inet.or.jp

ガバナーメッセージ

2021～2022年度のガバナーを務めさせていただきます大阪RCの吉川秀隆でございます。

2022年に当地区は100年を迎えます。その歴史と伝統に裏打ちされた多くの素晴らしい活動実績を誇る当地区のガバナーを拝命し、その重責に身の引き締まる思いしております。

今年度のRIテーマである“SERVE TO CHANGE LIVES”は、コロナ禍という未曾有のパンデミックに見舞われた世の中に一筋の光を与えるものだと確信します。諸先輩方が築いてこられた当地区の伝統に、時代に則した「多様性」と「適応性」を取り入れ、次の100年に繋がるよう、努力してまいります。当地区の運営に携わる全ての皆様のお力添えを心よりお願い申し上げます。

ニコニコ箱報告

- ・ガバナー補佐、エレクト 本日はありがとうございます。 森本会員
- ・職業奉仕、親睦委員会の皆様、家族会有難うございました。 森本会員
- ・職場見学秋の家族会欠席のお詫び 宮田、小川各会員
- ・家族会で会長からお土産を頂きありがとうございます。 松山会員
- ・職場見学と秋の家族会にご参加有難うございました。 眞下会員



例会出席報告

	第2927回	第2924回
例会日	11月16日	10月26日
① 会員数 A	37	37
(内出席免除者)	8	8
② 出席義務者数	29	29
③ 出席義務者出席数	17	20
④ 出席免除者出席数	5	4
⑤ メイクアップ数		6
⑥ 出席義務者欠席数	12	9
出席率 %	64.71%	90.91%

出席率 (2927回) ③+④/②+④ 出席率 (2924回) ③+④+⑤/②+④

◎副幹事・副SAA当番◎

- 11月副幹事 宮田幹二会員
- 11月副SAA 田畑榮彦会員
- 12月副幹事 豊島了雄会員
- 12月副SAA 松本 悟会員

☆11月受付当番☆

チーフ：松本拓朗会員

11月30日 田畑榮彦会員、南 浩暁会員

☆12月受付当番☆

チーフ：豊島了雄会員

12月7日 矢野 昭会員、松岡 治会員

12月14日 小寺潤一会員、田畑榮彦会員

幹事報告

- ・国際ロータリー第2660地区
「日本のロータリー100周年ビジョンレポート2020」意見調査のお願いが届きました。
- ・〈公財〉米山記念奨学会より
「矢野会員と松尾会員に米山功労者第4回マルチプルの表彰状」が届きました。
- ・国際ロータリー日本事務所より
木村会員にポールハリスフェロー5の記念バッジが届きました。
谷野会員にポールハリスフェロー1の記念バッジが届きました。
- ・とよなか市民環境会議アジェンダ21より
「とよなか市民環境展2021の案内」が届きました。

☞ 掲 示 板 ☞

- ・ガバナー公式訪問 本日
日 時：11月30日(火) 12:30～
場 所：ホテルアイボリー3F
※理事・役員の事前懇談会は11:20～12:20です。
- ・地区大会
日 時：12月3日(金)
13:00 開会 13:10-14:55 式典
15:00 特別講演
16:40 特別コンサート 17:20 閉会
場 所：大阪国際会議場
※本年度の地区大会は一日だけとなります。
- ・年末家族会
日 時：12月18日(土)
17:15 受付 17:30 開始
場 所：ホテル阪急インターナショナル
※本日出欠表を回覧いたします。

会長の時間

「特定整備とは」

2021-22 年度会長 森本博明

今回は私の豊中ロータリークラブでの職業分類である自動車整備の事について少しお話をさせていただきます。

「特定整備」と言う言葉をお聞きになった方はいらっしゃるでしょうか？会員の皆様にとっては聞き馴染みのない言葉かもしれませんが、2020年4月1日から道路運送車両法の一部を改正する法律(令和元年法律第14号)により、名称を「分解整備」から「特定整備」に改める改正が行われました。

そもそも自動車整備士の行なう整備には、点検整備、緊急整備、分解整備の3種類があります。このうち「分解整備」は最も高い技術が要求される整備で、本来自動車整備士の国家資格を持つ人しかできない整備です。「分解整備」とは、走る、止まる、曲がる為の装置を自動車から取り外して行なう整備の事です。当然、車検では「分解整備」が伴います。それに「特定整備」では今回新たに電子制御装置等の点検項目が追加されたことです。電子制御装置とは簡単に説明しますと自動車に装備されている各種運転支援システムのことです。

経過措置期間ではありますが、今後、電子制御装置等の故障また資格のない整備業者では車検が受けられなくなる可能性があります。最近の自動車には様々な装置が装備されていますし、故障も事故も少なくなりましたが、その反面、運転する人のちょっとした気の緩みが考えられないような事故につながることもあります。私も自動車整備士として私の体験からお客様に安心、安全そして快適なカーライフを楽しんで頂けるよう、そしてお役に立てるようお手伝いをする毎日です。

11月16日の卓話

「私の研究について」

米山奨学生：バストラ・ススミタ



私は大阪女学院大学の大学院では「ネパール内戦からの復興の課題」というテーマで研究をしています。本日は主にネパール内戦、それに関する現在の問題と、その中で私が研究していることについてお話をさせていただきます。

ネパール内戦は1996年から2006年にかけて11年間続いていました。山間部、農村部を中心として、ネパール政府軍とネパール共産党毛沢東主義派(マオイスト)の間で繰り広げられた内戦で、国土のかなりの部分(8割)を実効支配しました。主には2001年6月1日の王族殺害事件があって、その事件に関して政府の公式発表に国民の不満があって、王族と国民の信頼が崩れました。その後、国と国民を守る軍隊が住民を襲うことを政府が決めたことにより被害が多発しました。結果的には、1万7千人以上が亡くなり、2万5千人以上は行方不明になって、他にもけがをした人、親なし子など様々な影響を受けた人がいます。このように11年間続いた内戦は、首都のカトマンズに2週間以上続いた大規模な民主化運動によって、国王の政治特権はすべて剥奪されて、内戦が終わりました。その後、ネパールは王国からネパール連邦民主共和国に代わりました。

内戦後も政治不安が続き、新たな問題に巻き込まれた状態が続いていました。主には、新しい憲法を作ること、内戦の復興、戦った人の整理のこと、今後の発展などの件で国家予算と時間がかかりました。それと共に、地域では、内戦に参加した人、違う思想を持っている人たちの間の和解/協調(ハーモニー)がなくなり、新たな問題も発生していました。特に、経済的に厳しい状態になり、多くの若者は海外に出かけたりして、内戦と直接関係がない問題も出始めました。

このように内戦後出て来た様々な問題の中で、私は、内戦で大勢の人が行方不明になった東南ネパールの地域に住んでいるタルー民族を中心にして研究をしています。タルー民族はネパール全国人口で7パーセントしかいない、マイノリティーの民族です。それなのにタルー民族は内戦で行方不明になった数の多数を占めています。私はその原因を調べています。また、このように同じ地域から多くの人が行方不明だったので、どんな問題が発生しているのかについても調査しています。

その一方、それらに対して地域で出来ることが何かあるのではないかと調べたいです。これからは現地に行って行方不明になった人の家族やそれに関係している地域の人たちとインタビューなど様々な研究方法を使って情報を集める予定があります。

以上です。

ありがとうございました。

令和3年(2021年)11月18日

豊中ロータリークラブ
ご担当者様

豊中市立庄内さくら学園中学校
校長 亀谷 智

豊中ロータリークラブ「出前授業」実施報告書

- 講座名： 「さわってみよう！能の世界！」
- 講師： 能楽師 観世流 シテ方 山本博通 先生
- 実施日： 令和3年(2021年)11月5日(金) 3・4限
- 会場： 豊中市立庄内さくら学園中学校 体育館
- 対象者： 3年全クラス(160名)
- 実施概要： 能楽についてのDVDを鑑賞し、謡や歩き方、面をつけての動き方などを体験した。
- 生徒の様子： 事前に音楽の授業で学習した「羽衣」の舞を実際に見せていただき、「緊張感がこちらまで伝わった」「映像で見るとは全然違い迫力がすごかった」「先生の無駄のない動きがとてまかっこよかった」など多くの感想が貴重な時間であったことを表現しており、改めて本物に触れることの大切さを実感した。

